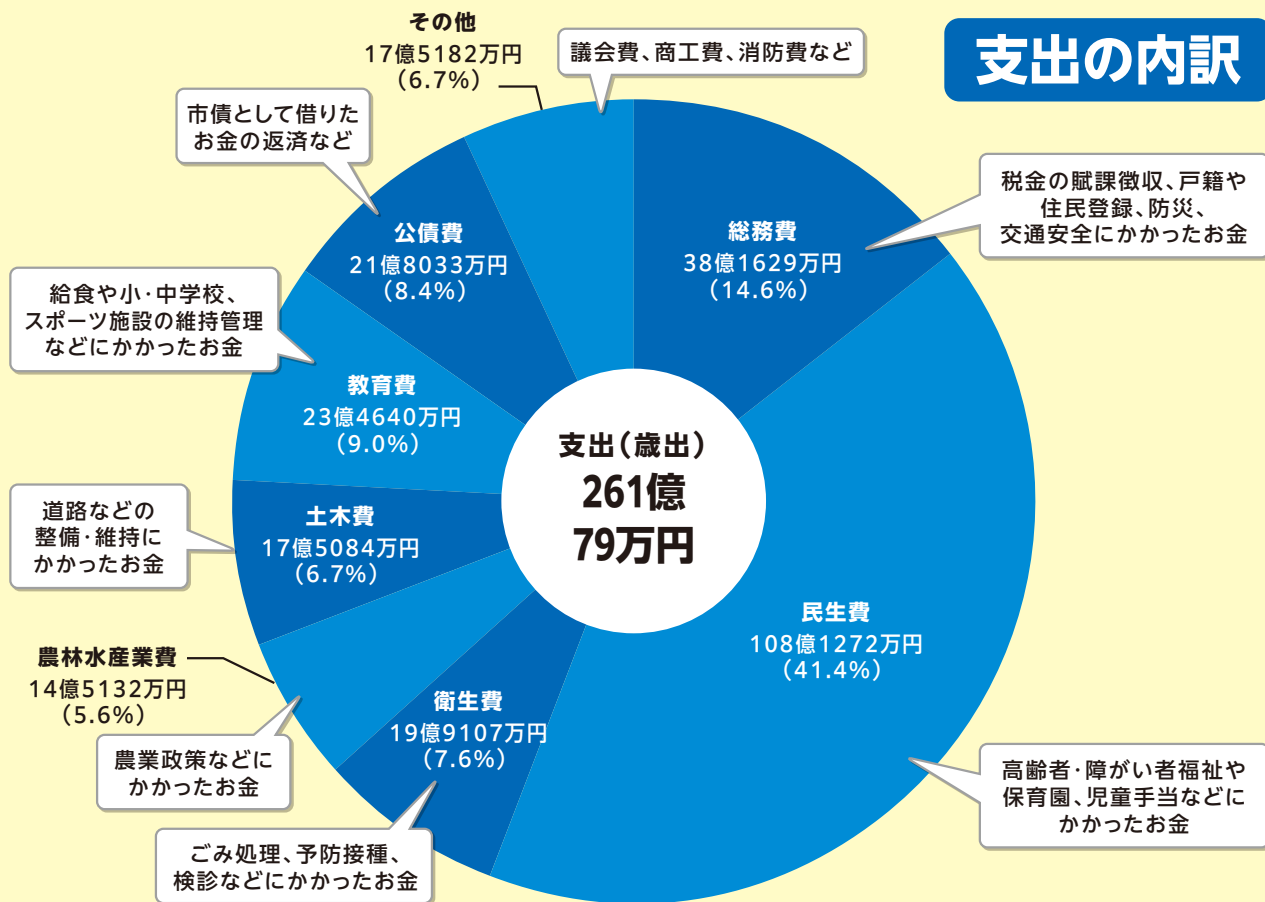


支出の内訳



高齢者支援施策
コロナ以前への
利用回復はできていない

◆高齢者タクシー

Q 利用者は増えてきたが、コロナ前の実績に戻っていない理由は、

A 新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度から利用率が減少している。

5年度に実施した、日常圏域ニーズ調査の結果でも、外出を控えるという方は多く、利用を見ても、以前の利用状況に回復していると言えない。

◆緊急通報システム

◆高齢者見守りシステム

Q 執行率の減少低下の原因をどのように分析しているのか。

啓発が不足しているのではないかと。

A 制度改正により、緊急通報システムの通報先を委託業者のコールセンターへ変更する必要がある、利用者全員への周知業者が訪問、登録を変更する作業を実施した。

その過程で死亡、施設入所など使用していない方が把握され撤去数が増えたことや、今後の利用について、不要と判断された方があり利用者が減った。

つたと考えている。

高齢者見守りシステムについては、新しいタイプの見守りシステムであるため、浸透しておらず、新しい利用者が見込みより少なかった。

高齢者に関わる機会の多い方、民生委員やケアマネージャー、介護事業所などにも、周知をし、必要と思われる方に事業が届くように努めている。

带状疱疹ワクチン補助

Q 接種者が少ない状況だが、理由として、補助金額が少ないのではないかと。

A 期間の短さに加え、生ワクチンが1回の接種であることにに対し、不活化ワクチンは2回接種であり、年度内に2回目まで完了した方が、実績が上がっていないことなどが原因として考えられる。



▲高齢者タクシーチケット